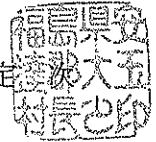




平成19年5月8日

国土交通省道路局長 様

大玉村長 浅 和 定



中期的な計画の作成にあたっての意見

均衡有る発展は、道路網の整備であると共に、地方が国の経済を支えてきた事は揺るぎない事実であり、都市中心の計画では地方の衰退につながるばかりでなく、益々少子高齢化を招き、国家の存亡になりかねない。

都市中心の経済から脱却し地方の持つ役割を十分発揮出来る様、下記の通り要望いたします。

記

1. 道路特定財源を他へ向ける事は許しがたい。
2. 均衡有る国土づくりの為、国・県・市町村道の整備を望む。
3. 地方には、多くの未整備の道路がある為、地方への予算配分をお願いする。
4. 都市部での道路建設は、高価である為、効率的事業執行を望む。
5. 橋梁の老朽化が進む中、安全な交通確保の為、予算措置をお願いする。

以上